

チョウゲンボウ（ハヤブサ科） 全長35センチ

9月6日、市立平和中学校長から電話がありました。

「学校の中庭に2～3日前から傷ついたチョウゲンボウがいる。捕獲を試みたができなかった。どうしたらいいだろう。」

直ぐ学校に駆け付けると、2階の外壁に止まっていたチョウゲンボウがこちらに向かって飛んできた。校舎横の花壇の中に降り立ち、じっとこちらを見たまま飛び立とうとはしません。

校長先生がたも網を持ってきたので、チョウゲンボウの後ろ側に向ってもらった。私はチョウゲンボウの視線をこちらに惹きつけるよう、話しかけながら時間を稼いだ。そして背後1メートルから網で抑えることに成功。チョウゲンボウが緊張して暴れないよう、直ぐに網の上に黒い布を被せた。

網からはみ出した羽を見ると、麻糸のようなもので粘着性があり、右の風切り羽と尾羽の一部が絡み合っているのではないか。（釣り糸ではなく、針もありません。）これではまともに飛ぶことは出来ないでしょう。羽に傷つけないよう、ハサミで慎重に紐を切断した。



尾羽と風切り羽に絡まった糸を解いてやった。

その間、3分ぐらいだろうか。押さえた網をとってやったら、チョウゲンボウは目の前を元気に飛んでいった。羽ばたきを見たが、全く普通の飛行である。近くの物置小屋の屋根に止まったまま、こちらを眺めている。その距離5メートルほどか。かなり近い。我々の行動を見ているが、逃げ去る気配はありません。



チョウゲンボウ、メス成鳥。解放されキョトンとしていたが、直ぐに飛び立った。



花壇の上を飛び去った。支障のない飛行である。

チョウゲンボウの主な餌は小鳥などを空中で捕える他、ネズミなども捕らえます。

紐が絡まってから、どのくらい時間がたったのだろうか。その間は餌を獲ることは出来なく、お腹も減っていたでしょう。もう飛ぶことに支障はないので大丈夫でしょう。そっとその場を離れた。



物置小屋の屋根に止まった。



かなり近い距離であったが、じっとこちらを見たまま逃げません。

振り返ってみると、チョウゲンボウの行動が不思議でならなかった。

一つは、私が現場に着くなり、こちらに向かって飛んできて、花壇に降りると動かなかった事。(偶然ではないかと言われればそれまでですが)

二つ目に、紐を解(ほど)いてやると元気に飛び出していったが、近くの屋根に止まり暫くこちらを眺めていたこと。

こうしたことから、チョウゲンボウは助けてもらう為に近づき、紐を解かれてお礼を言いたかったのではないか。などと勝手な解釈をしています。